

難治性疾患克服研究事業の候補疾患について

難治性疾患克服研究事業への追加の検討対象として、

○患者団体から厚生労働省に要望書が提出されている疾患

○難治性疾患克服研究事業の研究者から提案があった疾患

について、難治性疾患克服研究事業の研究班が文献等から収集した情報を一覧にまとめたもの。

検討の対象となる疾患は、下記の 24 疾患である。

HTLV-1 関連脊髄症 (HAM)	強直性脊椎炎
腹膜偽粘液腫	進行性骨化性線維異形成症 (FOP)
1 型糖尿病	線維筋痛症
先端巨大症	再発性多発軟骨炎
下垂体機能低下症	胆道閉鎖症
クッシング病	エーラス・ダンロス症候群
原発性側索硬化症	水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症
一次性ジストニア	非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症、葉状魚鱗癬
有棘赤血球を伴う舞踏病	色素性乾皮症 (XP)
反射性交感神経ジストロフィー (RSD)	von Hippel-Lindau 病
狭窄性細気管支炎	Prader-Willi 症候群
肺胞蛋白症	マルファン症候群

※ 「下垂体機能障害」の要望については、既に「プロラクチン分泌異常症」「ゴナドトロピン分泌異常症」「ADH 分泌異常症」が難治性疾患克服研究事業の対象となっていることから、そのほかの「先端巨大症」「下垂体機能低下症」「クッシング病」が検討の対象となっている。

※ 資料中、「長期にわたる疾患の状況」は、大方の患者に数年に渡り該当するものを記載。